

登録医ニュース

メタセコイア

第49号
2019.9

編集・発行/東北医科薬科大学病院 総合医療支援センター

〒983-8512 宮城県仙台市宮城野区福室1丁目12番1号 Tel(022)259-1221(代表)
Tel(022)388-9593(医療連携室直通) Fax(0120)25-9121(医療連携室直通)
Eメールrenkei@hosp.tohoku-mpu.ac.jp ホームページhttp://www.hosp.tohoku-mpu.ac.jp

産科診療の紹介

産婦人科 准教授 さかい けいじ
酒井 啓治

日頃より、登録医の先生方には、たくさんの患者さんをご紹介いただき深く感謝申し上げます。

現在、非常勤を含め5名の医師で産婦人科診療にあたっております。5名全員が日本産科婦人科学会産婦人科専門医で、他に日本がん治療認定医機構がん治療認定医2名、日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医2名、日本内視鏡外科学会技術認定医2名、日本生殖医学会生殖医療専門医1名、日本臨床細胞学会細胞診専門医1名、日本周産期・新生児医学会母体胎児専門医1名、日本内分泌学会内分泌代謝専門医1名など全国

的に指導的な立場にある医師がそれぞれ診療にあたっています。

ところで、東北医科薬科大学病院の産婦人科は2016年4月に開設され、婦人科悪性腫瘍の治療を中心として診療を行って参りました。しかし、産科診療に関しましては旧東北厚生年金病院時代の2005年6月以来、診療を中止しておりましたが、この度2019年5月から産科外来診療を再開いたしました。現在、まだ施設工事のため分娩は本年秋以降を予定し、10月1日(火)以降の分娩予定日の方の分娩予約を開始いたしました。しかし、まだまだ診療体制の整備中でソフト面においてもハード面においても充実させなければならない点が多々あります。このため、現在は安全第一を考え分娩(数ならびに合併症など)に制限を設けさせていただいております。人員や施設の充実とともに制限を解除していく所存ですので何卒、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

当院での分娩をご希望される方がいらっしゃいましたら、どうぞお気軽に産婦人科外来(代表電話:022-259-1221、平日14:00~16:30)までお問い合わせください。里帰り出産をご希望の方は、妊娠20週前後に受診をしていただいておりますので詳細はお問い合わせください。また、里帰りのため他院で分娩予定の方も、現在のところ当院で妊婦健診を受けていただくことは可能です。

今後もよりよい医療の提供に繋がられるよう、引き続き努力していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。



診療科紹介

教授 こうの 河野 たつろう 達郎



ペインクリニック外科開設のお知らせ

当院では2019年8月7日よりペインクリニック外科外来を開設いたしました。

■ペインクリニック外科とは

英語ではペインは痛み、クリニックは医療機関という意味です。すなわち、「ペインクリニック」とは痛みを持っている患者さんを診療し、痛みの緩和とそれによる生活の質の改善を目的とした診療科です。

痛みは私たちにとって嫌なものですが、だからといって痛みがなければ良いというわけではありません。痛みを感じないとするとケガをしても、お腹が痛くなっても異常を感じないので病院に行くことはありません。

しかし、症状は悪化していき取り返しがつかないことになるかもしれません。

したがって、痛みを感じることは私たちの体を守る生体の防御システムとして重要なものです。

しかし、その「警告としての痛み」ではない不必要な痛みはないに越したことはありません。そういった痛みがペインクリニックの治療の対象になります。

例えば、病気が治っているにも関わらず長引く痛みや慢性的な痛み、ぎっくり腰など急激な痛みなどです。症状や身体所見から多角的に痛みの原因を診断し、薬物療法のみでなく神経ブロック療法など様々な方法を用いて、痛みを緩和するための適切な診断や治療を行い、生活の質を向上させます。

主な対象疾患

ぎっくり腰（急性腰痛症）、椎間板ヘルニアや変形性腰椎症などの腰痛、膝の痛み、肩関節周囲炎などの肩の痛み、帯状疱疹による痛み、三叉神経痛、頭痛、筋・筋膜性疼痛、手術後の長く続く痛み、複合性局所疼痛症候群、がんの痛みなど。

診察日

毎週水曜日の午後
予約時間 14時～16時

予約制

外来化学療法センターニュースレター 第3号2019.9

がん化学療法看護認定看護師 ^{さとう}佐藤 みほ



当院の腫瘍内科は、2005年(平成17年)1月に新設され、同年10月より外来化学療法室が始動しました。開設当初、化学療法室を利用される患者の方々が受けられている治療は、消化器外科の化学療法とリウマチ科の生物学的製剤がほとんどでした。2016年に東北医科薬科大学病院となり、診療科も増え、化学療法室の利用者数も増えてきました。2019年4月より外来化学療法室は、15床へ増床し、電動ベッドが5床、電動リクライニングチェアが10床に整備されました。テレビが完備され、治療中のDVDプレイヤーの貸し出しもおこなっており、リラックスした環境で治療を受けることができます。

療を受けることができます。

化学療法室を初めてご利用される方々には、看護師から、1日の流れや、脱毛への準備、感染予防、自宅での体調不良時の受診方法などについてのオリエンテーションをいたします。また、治療を受けられる方々が、ご自宅で出現する副作用症状に対して理解され、適切に対応していただけるように、薬剤師よりパンフレットを用いて説明させていただきます。前回治療後の体調をご確認し、心配なことをお伺いし、できるだけ早期に解決できるようチームと一緒に考えさせていただきます。患者およびそのご家族の方々が、安全に、安楽に、安心して療養生活を送っていただけますよう、スタッフ一同協力して取り組んでいます。質問・相談がしやすい環境づくりを心掛けております。がん相談支援センターとも連携し、治療面だけでなく、生活や仕事・様々な社会資源の活用についてもサポートできる体制を整え、利用される皆様のフォローに力を入れております。

【安全・確実・安心して治療を受けて頂くために】

レジメンはがん化学療法レジメン検討委員会で安全性や有効性、妥当性が審議されます。審議の結果、承認されたレジメンは、電子カルテに投与量や投与間隔などが登録され、使用可能になります。

点滴を実施する際には、電子カルテの患者確認システムを用いて誤認防止を行っています。

外来化学療法は、治療を受けられる方々がこれまでのライフスタイルを継続し、社会生活、家庭生活を維持できるというメリットがあります。そのメリットが十分に活かされ、通院される皆さまが自宅や職場でできるだけ快適に過ごせるようにサポートしています。



がん薬物医療トピックス

NTRK融合遺伝子陽性の固形癌に対する治療法

2018年11月に米国において神経栄養因子受容体チロシンキナーゼ（NTRK）融合遺伝子陽性の固形癌に対しラロトレクチニブが迅速承認されました。LOXO-TRK-14001試験、SCOUT試験、NAVIGATE試験の3つの多施設共同非盲検単アーム試験の結果に基づくものです。NTRK融合遺伝子を有し切除不能または転移があり、3試験に登録された最初の55人における奏効率は75%、完全奏効率も22%という良好な結果が得られました。また、本邦においてはNTRK融合遺伝子陽性の固形癌に対し、エヌトレクチニブが世界に先駆けて承認されました。がん種を問わず、マイクロサテライト不安定性を示す固形癌に対し、ペンブロリズマブが使用できるようになりましたが、同じように上記の薬剤もがん種を問わないかたちで承認されています。現在、がん種に関わらずある遺伝学的特徴を選択基準として治療の有効性、安全性を検討するバスケット試験という形式の臨床試験が多数行われています。今後はそのような試験の結果に基づいて特定の遺伝学的特徴を有する全ての固形がんを対象とした新規抗腫瘍薬剤の承認が増えると考えられます。

（文責 下平）



15床に増床した外来化学療法室



外来化学療法センター・スタッフ

編 集 後 記

外来化学療法センター・ニュースレター第3号をお届けすることができました。今回はがん薬物療法に携わるチームの中で、看護師さんの視点から投稿していただきました。5名の看護師さんが配置され、薬剤の投与管理に加え、副作用対策、身体的・精神的サポートなどがん治療の負担を少しでも軽減できるように工夫していただいております。2019年4月より外来化学療法室の増床が実現し、だいぶ利便性が高くなりました。今後も、多職種で連携を図りながら、近隣の医療施設の皆様から信頼され、利用される皆様が安心して治療を進められるよう努力していきたいと考えます。

（外来化学療法センター長 下平秀樹）

連携センターからのお知らせ

ペインクリニック外科 受診方法について

2019年8月1日よりペインクリニック外科が始まりました。
受診は予約制になりますので医療連携室にて予約をとり来院ください。

■予約方法

予約は医療機関のみから可能です。

紹介状をお持ちでも、患者さんやご家族からの予約の申し込みは受け付けておりませんのでご了承ください。

紹介状を添付の上、診療予約申込書に予約希望日を記載し連携センターまでFAXを送信ください。
予約希望日が無い場合は最短でお取りできる日に予約いたします。

■申込先

連携センター 電話：022-388-9593(直通)

FAX：0120-25-9121(直通)



産科の受診方法

令和元年（2019年）10月1日以降の分娩予定日の方の分娩予約ならびに妊婦健診の予約を開始しております。

■予約について

- 産科外来は完全予約制です。分娩予定日が決まっていない方の分娩予約はできません。
- 分娩の予約は医師の診察を受けてからになりますのでご了承ください。
- 予約は医療機関からお願いいたします。
- 合併症妊娠や多胎妊娠などハイリスク妊娠、早産の可能性が高い妊娠と判断した場合は初診時および健診経過中に他の専門医療施設へご紹介させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 「産科診療予約申込書」に必ず分娩予定日と週数を記載の上、患者支援・医療連携センター（医療連携室）までFAXにて送信ください。
- 里帰り分娩も予約が必要です。
- 受診予約はあくまで外来受診であり、分娩予約ではありません。

■診察日

毎週火曜日から金曜日の午後行います（医師の都合により休診あり）。

■分娩、里帰り分娩、妊婦健診についてのお問い合わせ先

東北医科薬科大学病院 産婦人科外来

TEL：022-259-1221(代表) 産婦人科外来とお伝えください

妊婦さんまたはご家族からの直接のお問い合わせも産婦人科外来へお願いいたします。 **お問い合わせ時間：月曜日～金曜日の14:00～16:30**



臨床実習へのご理解ご協力をお願い

東北医科薬科大学病院および若林病院では、本年10月より、本学医学部4年生による臨床実習が始まります。

医学生たちは、東北地方の医療に貢献したいという志を抱き本学に入学し、入学後3年半に渡り「基礎医学」から「臨床医学」を学んできました。そして医療系大学間共用試験という、医学的知識および診察方法や態度を問う全国統一の試験に合格し、臨床実習を行う能力と資格があると認定された上で16ヶ月間におよぶ臨床実習に臨みます。

この臨床実習では、医学生たちは診療チームで主治医の一員となり、指導医と一緒に診療に参加しますが、単なる技能の習得ということにとどまらず、「患者・家族および他の医療スタッフと対等な人間関係を構築し、患者の考えや患者を取り巻く社会的環境に思いを致し、円滑なコミュニケーションをとれる。」ことを達成目標のひとつとして掲げております。

その目標を達成し「良き臨床医」を養成するための第一歩となる臨床実習では、登録医の先生方から本院ならびに若林病院にご紹介いただく患者さんたちとの関わり合いが最も大切になります。

医学生たちは、患者さんのお言葉からも非常に多くのことを学ぶはずですので、積極的に医学生にお声がけくださるよう、先生方からも患者さんたちへご案内くだされば幸いです。

また、診療科によっては登録医の先生方下での臨床実習をお願いする予定もございます。その際には厳しくも温かいご指導をお願い申し上げます。

われわれ指導医は、患者さんの安心・安全を確保しつつ学生の指導を行うとともに、最善の医療を提供できるように、より一層努めてまいりますので、本学の臨床実習へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

東北医科薬科大学病院 総括病院長 近藤 丘
東北医科薬科大学 医学部長 福田 寛

第2回市民公開講座のお知らせ

第2回市民公開講座を開催いたしますのでお知らせいたします。
開催の案内については改めて先生方にはご郵送いたします。

- | | | | |
|-------|------------------------------|------|---|
| ■開催日時 | 令和元年11月10日(日)
13時～15時 | ■テーマ | 癌(消化器・呼吸器)の予防と診断と治療 |
| ■開催場所 | 東北医科薬科大学 教育研究棟3階
プラタナスホール | ■講師 | ・腫瘍内科学
教授／下平秀樹 先生
・内科学第一(呼吸器内科)
教授／吉村成央 先生 |